

新設の防災会議発足

台風シーズン暫定計画できりぬけ

市長は、九月一日、平塚市防災会議委員十九名を任命しました。災害対策基本法にもとづき、市は、ことし三月、防災会議条例を制定以来、防災会議の発足を準備してきていたものです。新委員がきまつた防災会議は、九月十六日初の会合をひらき、台風シーズンをむかえて、当面、平塚市地域の暫定防災計画を決定しました。この暫定計画は、災害に関連をもつ各機関が、すでに決めていた個別の消防計画・水防計画・救助計画などをほぼ原形のままあつめたもので、防災会議の機能をいかして、これら各個の機関や計画を総合的に運用するのをねらいとしたものです。

今年度は、この暫定計画で台風シーズンを通りぬけ、本格的に、平塚市地域防災計画を打ち出していくのは明年度となる見込みです。

防災会議は、災害対策基本法による。②市内災害の情報を収集する。③市内災害の情報を収集する。④市内災害の情報を収集する。

防災計画を作成しその実施をはかる。委員定数は三十人以内、市長が

任命する政府機関の職員、県および市の職員、公共的機関の職員のほか、警察署長、教育長、消防長、消防団長などをあてることがなつており、今後、専門委員、専門部会を置いていくことになつていきます。新任の委員次のとおり。

△会長・加藤市長

× ×

▽副会長・鈴木市助役

▽委員・宮野農林省神奈川食糧事務所平塚支所長、青山中地方事務所長、山田平塚保健所長、稲田平塚土木事務所長、小泉企業庁水道局平塚事務所長、山口企業庁水道局平塚資材事務所長、丸山平塚復興事業所長、野田平塚警察署長、平田市収入役、加賀屋市教育長、山中市消防長、倉田消防団長、山崎平塚駅長、角田平塚電報電話局長、追分日本通運平塚支店長、平井東京電力平塚営業所長、長塚神奈川中央交通平塚営業所長、杉崎東京ガス藤沢営業所長。

特殊建物の診断書

ことしは映画館から報告求める

建築基準法の規定によつて、ことしから、映画館・学校・百貨店

など特殊な建築物の老朽化と事故を事前に防止するため、これらの所有者または経営者は、建物の状況を神奈川県知事に報告することになりました。ことしは、最初に映画館、劇場などについて行なうことになっています。

該当の建物の経営者は、①敷地の避難通路の状況、②建築物の避難防火の状況、③建築物の構造耐力の状況などについて、専門の建築士に診断書を書き、てもらい、十

今年度は、この暫定計画で台風シーズンを通りぬけ、本格的に、平塚市地域防災計画を打ち出していくのは明年度となる見込みです。



秋の交通安全運動＊

市民大会・10月25日

- 市民センターホール
- 午後1時—3時
- 市民の参加歓迎
- 交通功労者の表彰
- バンド演奏など

…日取りを訂正しました

【平塚市安全協議会】